

# 2014年（H26年度） 伊野地区自治協会「活動の重点」

2014,5,24

伊野地区自治協会

★伊野地区の将来について考える人を増やす。<sup>たから</sup>（人財） ★考える人が集い、課題を共有し合う場をつくる。（エネルギー） ★小さな一歩を踏み出す（行動）

## 1 「伊野で子どもを育てたい」と思える地域づくり

- ◆子育ての「世間」がある里（みんなで子どもの成長を支援）
- ◆地域資源を活かした子育て支援事業の展開

<取組>

- 1 伊野小学校存続か統合かを定める。  
地域コミュニティーや学校コミュニティーにとって最善の方向を考えた結論を出す。
- 2 伊野ページの継続・発展。
- 3 伊野小学校の教育活動支援。コミセン・社協等による子育て支援事業の発展。

## 2 農業と食を楽しむ地域づくり

- ◆農業者の高齢化に伴う耕作放棄地の増加等、伊野地区農業が抱える諸課題にたいして具体的な取組を行う。
- ◆農業やガーデニングを楽しむことと健康と食をつなげた地域づくりを進める

<取組>

- 1 伊野産直市を開催する（今年度は3～4回）
- 2 伊野農業懇話会を開催し、農業がかかえる問題について検討を続けると共に、国の農業政策変更について学ぶ機会を設ける。
- 3 シカ・イノシシ等、害獣対策を進める。
- 4 耕作放棄地の再利用、新しい商品作物の開発・ブランド化、農業の6次産業化について研究を進める。

## 3 安心・安全の地域づくり

- ◆原子力災害に対応できる体制を整備する
- ◆土砂災害に対応できる体制を整備する

<取組>

- 1 伊野地区独自の原子力災害対応の避難訓練を実施する。
- 2 土砂災害対応の訓練を実施し、マニュアルを作成する。
- 3 伊野分団3部体制の円滑な推進と地合の格納庫建設。
- 4 災害時の情報インフラを整備する。

## 4 高齢者に対する福祉・医療の充実

- ◆高齢者世帯が直面する諸課題（買い物弱者、医療アクセス、葬儀等）について検討を行う
- ◆災害等緊急時の高齢者支援の体制を整備する
- ◆高齢者の出番をつくる活動、高齢者の健康増進を図る取組を進める

<取組>

- 1 「第3次福祉活動計画」の策定
- 2 町内単位の高齢者の活動（社協のサロン事業など）を発展させる。
- 3 社協・民児協・自治協会等の連携を図り、福祉・医療に関わる課題解決に努める。

# 伊野暮らしを楽しむ

## 5 住みよい伊野にするためのインフラ整備

- ◆松江、平田・出雲へのアクセス等交通インフラの整備を進める
- ◆災害に備えるインフラ整備を進める
- ◆伊野川井堰改修等、農業インフラの整備を進める

<取組>

- 1 市の「道路整備事業10カ年計画」に位置付けられている伊野地区の「継続事業」「新規事業」の早期実現を図る取組を強める。
- 2 災害時、地合町からの避難経路になる簸川・一畑・大社線等の整備改修を進める取組を強める。
- 3 「3カ年計画」の早期実施等、伊野地区の喫緊の課題について早期実現をめざす取組を行う。
- 4 伊野川井堰改修の早期実現、伊野川・中川の伐木・除草事業を進める。

## 6 「伊野暮らし」を楽しむ地域づくり

- ◆まちづくりを語り合う場と機会をつくる。
- ◆スポーツを楽しむ生活と交流人口拡大
- ◆国際交流・多文化共生の地域社会をつくる
- ◆女性や若者・壮年世代の動きをつくる

<取組>

- 1 「ひだまりカフェ」を開催し語り合いの場をつくる。
- 2 まちづくりを考える講演会等、伊野の未来を考える機会をつくる。
- 3 スポーツを通じた地域づくりと交流人口拡大。
- 4 国際交流・他地域交流をめざす取組を発展させる
- 5 伊野暮らしを楽しむ活動を行うグループを発掘・支援する
- 6 女性や若者世代の活動を起こしていくための取組を行う。
- 7 伊野地区住民の困り感や要求を年代別・性別に把握するためのアンケート調査を実施する。

## 7 伊野の魅力発見と情報発信

- ◆ホームページ等を活用した情報発信の充実

<取組>

- 1 伊野の情報を発信するホームページを開設する
- 2 新聞・テレビ・CATVの活用
- 3 ソーシャルラーニング開催
- 4 空き家の把握と活用について検討